

活用方針



VLP取組概要



■ VLP活用のねらい

(適) オンラインを活用した「つながり・居場所づくり」 図書館を利用した支援やメンタルフレンドなど、通所できない児童・生徒への支援と同様に「支援」の一つとする。

(日) 日本語での会話の機会の増加

■ 対象生徒・児童

(適) つくし教室（適応指導教室）在籍児童・生徒のうち、VLPの活用を希望する児童・生徒

(日) 日本語学級設置校及び日本語指導教員加配校のうち、VLPの活用を希望する児童・生徒

■ 運営時間

(適) 午前 8 時から午後 6 時

(日) 日本語指導の授業時間及び放課後午後 6 時まで

■ 活用方法

(適) 朝の会の配信、行事の事前学習の配信、オンライン支援員との交流、学習ツールの活用、登室していない児童・生徒との交流

(日) オンライン支援員との日本語での日常会話、利用者同士の交流など

活動・取組み内容



活動・取り組み内容

【前期】

・つくし教室に対する緊張感を弱めるために、継続的に朝の会や行事の事前学習を配信して安心感をもたせた。また、当日につくし教室に登室できなかった児童・生徒がつくし教室の児童・生徒と交流できる時間を設定したことで、児童・生徒にとってつながりを感じられる環境を整え、居場所として活用することができた。

【後期】

・前期に引き続き、つくし教室での活用を継続した。
・日本語指導では、日本語学級設置校及び日本語指導教員加配校のうち、利用希望のあった学校の児童を対象としてアカウントを配付した。その際、タブレットのデスクトップにリンクを設置したことで、気軽にログインする様子が見られた。日本語会話の習熟のための機会となったと考える。

成果/好影響・次年度以降の方針・利用者の声

成果/好影響

- ✓ (適) VLPに設置されている学習用アプリ(デキタス)を使って、自分が学びたい内容を選んで取り組む様子が見られた。
- ✓ (適) 朝の会や行事の事前指導をオンライン配信することで、その日に登室できない児童やその保護者が安心感を得ることができた。
- ✓ (日) 希望者が気軽にVLPにログインできる環境を整備したことにより、日本語の日常会話を練習できる機会が増えた。
- ✓ (日) VLPへのログインが定着してきた児童もあり、日本語会話の環境が整ってきたことで、VLP上における児童同士の交流も見られるようになった。

次年度以降の方針

- ✓ 不登校支援ではVLPを対面での指導・支援に繋げるための補助的な取組と位置付け、今年度と同様の取組を継続する。
- ✓ 不登校対策の取組として保護者への周知をすすめていく。
- ✓ 日本語指導においては、アカウントを継続して使えるように依頼しており、今後もログインの手間を軽減して気軽に使える環境を維持する。また、学校から利用希望があった際は直接訪問してリンク設置を行うと同時に、活用に向けた周知を図る。

利用者の声



- (適) 今年も「デキタス」を使えたので、よく分からなかった内容をもう一度学び直すことができてよかった。(生徒)
- (適) 教育センターに行けなかった時も、つくし教室の様子が分かってよかった。
- (日) オンライン支援員さんに日本語で勉強している内容を伝えることができた。VLPを使ってお話をするのが楽しかった。



<教職員から>

- (日) 授業で活用することがある。VLP上にある「桃太郎電鉄」(教育版Liteを区で依頼・導入)では、日本の地理を知るきっかけとなった。
- (日) 自宅で一人で過ごしている児童が仮想空間に入ることを楽しみにしていて、今日は何先生がいるかな?という言葉も聞こえてくる。

日本語学級設置校長
日本語指導教員加配校長

7 新教支教第 80050 号
令和 7 年 8 月 28 日

教育指導課長
教育支援課長

東京都教育委員会との連携事業（日本語指導）の実施について（依頼）

日頃より、本区の教育支援事業へのご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。
新宿区教育委員会では、令和 4 年度より東京都教育委員会との連携によるバーチャル・ラーニング・プラットフォーム（仮想空間、メタバース）を活用した日本語指導の取組を行っています。
令和 7 年度においては、希望者を対象として日本語学級設置校・日本語指導教員加配校において、バーチャル・ラーニング・プラットフォーム（仮想空間、メタバース）を活用した取組を行います。
つきましては下記のとおり、日本語指導に係る連携事業について、ご理解・ご協力をくださいますようお願いいたします。

記

- 東京都との連携事業
○協 定：新宿区教育委員会と東京都教育委員会による連携協定
○名 称：バーチャル・ラーニング・プラットフォーム（VLP）
- 取組期間・利用可能時間
令和 7 年 9 月から令和 8 年 3 月まで
平日 午前 8 時～午後 6 時（ログイン可能時間帯）
- 取組内容
仮想空間（メタバース）上のスペースにおいて、オンライン支援員等と挨拶や日常会話を行うことで、日本語指導で学習した内容を活用する機会を増やす。
- 対象児童・生徒
日本語学級設置校及び日本語指導教員加配校で日本語指導を受けている児童・生徒のうち、利用を希望する児童・生徒
※東京都教育委員会から配布されたアカウント数に基づき、配付可能人数には上限があります。
- 申込方法
日本語学級設置校及び日本語教員加配校で日本語指導を受けている児童・生徒から VLP の利用希望があった場合は、学校から担当指導主事までご連絡ください。
ログイン方法や使い方について、日程を調整のうえ各学校を訪問して説明します。
- その他
不明な点につきましては、担当までお問い合わせください。

【担当】 教育支援課
統括指導主事 辻 慎二 (87476)
指導主事 新井 大地 (87477)

VLPとは…?



どんなことができるの？

オンラインのしえいんとおはなしすることで、にほんごのかわのれんしゅうができます。
また、VLPのなかで、いろいろなべんきょうをすることもできます。



↑どうが：しゅやくのようす



どんなスペースがあるの？

3Dメタバース（かそうくうかん）には、きょうしつ、がくしゅうスペース、そうだんスペースなどがあります。もくてきにあわせてつかえます。



よくあるしつもん

- Q** だれがいるの？
オンラインしえいんがはなしあいてになってくれます。また、にほんごをまなんでいるほかのがっこうのこどももさんかします。
- Q** べんきょうはできるの？
べんきょうのためのいろいろなコンテンツをよういています。わからないことは、VLPにいるオンラインしえいんか、たんにきいてください。
- Q** おうちでつかうには？
がっこうからかりているタブレットたんまつからはいることができます。ネットワークのはやさによっては、うごきがおそくなる場合があります。
- Q** トラブルがしばしば…
VLPにはいつもオンラインしえいんがいて、トラブルにたいおうしています。また、VLPでのやりとりはぜんぶのこります。しばしばなことや、こまったことがあれば、たんにれんらくしてください。
- Q** うごかしかたは？
なかにいるオンラインしえいんにきくことができます。ひつようなかたにはせつめいしますので、たんにうまでれんらくしてください。
- [たんどう] しんじゅくきょういいいんかい
きょういしえんか(しどうしゅじ)
[でんわ] 03-3232-1054